

2024 年度

明海大学大学院

応用言語学研究科

博士前期課程 B 日程

外国語試験問題

注意事項

- 1 解答開始の合図があるまで、この問題の中を見てはいけません。
- 2 日本語・英語・中国語から1言語を選択して解答してください。ただし、母語を選択することはできません。

2024年度大学院応用言語学研究科博士前期課程入学試験問題

No. 1 / 3

日程	研究科	区分	試験科目
B日程	応用言語学研究科	一般 社会人 外国人留学生	日本語

第1問 (1)～(10)の下線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- (1) 分析した結果、敬語使用の変化に 顕著 な違いが出た。
- (2) 今後は要因を 細分化 して検討していく必要がある。
- (3) この調査は協力者に口頭および書面で 承諾 を受けた。
- (4) 本研究の調査方法はA(2006)を 援用 している。
- (5) 社説内で言及はされているものの重要性を 帯 びていないと思われる。
- (6) 本研究で示された結果は人間関係に影響を及ぼすと 危惧 される。
- (7) 事前と事後では質問項目が 若干 異なっている。
- (8) 本研究ではAに対する 妥当性 を検証する。
- (9) 各表現のもつニュアンスの違いについては 後述 する。
- (10) 日本人英語学習者の英語到達目標を 策定 することを目的とする。

第2問 (11)～(20)の下線部のひらがなを漢字に直しなさい。

- (11) 語根については以下の論文を さんしょう してほしい。
- (12) AとBが持つ共通の問題点のあぶり出しは きつきん の課題である。
- (13) 検定の結果、活動の前後に ゆういさ がみられなかった。
- (14) 計3回の じゅうだんてき 半構造化インタビュー調査を実施した。
- (15) 今後の課題は調査範囲を かくだい していくことである。
- (16) 様態のソウダがどのような名詞と きょうき するかコーパスを使って調査した。
- (17) A国の文化背景については すで に述べたとおりである。
- (18) 表1では習熟度別に ひんど を表す副詞テストの成績を示している。
- (19) この研究では民族的要因の かんよ を否定している。
- (20) 今後は学びのプロセスをより具体的に かしか する必要がある。

第3問 次の文の下線(21)～(25)に適切なことばを下のA～Eから選んで、その記号を書きなさい。

- ・ 研究データの (21) を確保できなければ、その分析結果も信頼が得られない。
- ・ 本研究の目的に即して得られた (22) をまとめる。
- ・ 本研究はあくまで事例研究であるため (23) は不明である。
- ・ 本事例で実施した (24) のうちどれがどれだけ効果を持つのか検討する必要がある。
- ・ 今回の結果は、言語学のみならず学際的研究へも (25) できると期待できる。

A.再現性 B.介入 C.一般化可能性 D.貢献 E.知見

2024年度大学院応用言語学研究科博士前期課程入学試験問題

No. 2/3

日程	研究科	区分	試験科目
B日程	応用言語学研究科	一般人 外国人留学生	日本語

第4問 次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

問題文については、  
著作権の関係から掲載いたしません。

2024年度応用言語学大学院研究科博士前期課程入学試験問題

No. 3/3

日 程	研 究 科	区 分	試 験 科 目
B日程	応用言語学研究科	一 般 社 会 人 外国人留学生	日 本 語

(1) 下線部A 「自分は何者なのか」を示す機能とはどのような機能ですか。わかりやすく説明しなさい。

(2) 空欄  に入れるのにふさわしい二字熟語を記しなさい。

(3) この文章の内容についてのあなたの考えを、120字以上150字以内で述べなさい。